

ノイトリック : Dante アダプター NA2-IO-DLINE



ノイトリック株式会社は、コネクターのメーカーであるが、ラックマウント可能かつ単体でフィールドユースにも使える小型 Dante オーディオインターフェースを持つ電子機器を発売した。

光ファイバーのデジタルスイッチャー opticamSWITCH (オプティカムスイッチ) や無線型オーディオコネクターの XIRIUM PRO (ジリウム プロ) といった製品もあるとのこと。(無線型は電波法の関係で現時点では日本未発売。)

今回はどんな製品を発売したのか紹介しよう。一言で表現するとラックマウント可能かつ単体でフィールドユースにも使える小型 Dante オーディオインターフェース。

簡単に Dante 規格について説明しよう。Dante はオーストラリアの企業である Audinate 社が開発したイーサネットベースのデジタルオーディオネットワークの規格で既に多くの機器メーカーが対応製品を出している。

非圧縮のオーディオ信号をイーサネットケーブルで多チャンネル送受信でき、そのルーティングも簡単に設定できることから近年急激に普及が進んできた。

では既に多数の Dante 対応機器がある中なぜノイトリックがこのような機器を発売するに至ったのか。そもそもなぜコネクターメーカーであるノイトリックが機器を開発したのか。そういった疑問をノイトリックの日本法人に伺った。

機器を開発した理由

ご承知の通り、ノイトリックはコネクター製品を提供する企業です。ただし、私たちはコネクターの定義を物理的なコネクターパーツと考えているわけではありません。

コネクティングソリューション、つまり何かと何かを繋ぐことで皆様のお役に立ちたい。そう考えています。

ミキシングコンソールとアンプやパワー

ドスピーカー、レコーダー等の間を冗長性と信頼性で繋ぐ無線機器の XIRIUM PRO、光ファイバーのパッチングを物理的な挿抜無しで行える opticamSWITCH、そして今回発売した Dante アダプターの NA2-IO-DLINE は Dante ネットワークに対応しないアナログオーディオ信号を扱う多数の機器と Dante ネットワークを繋ぐ機器、全ては繋ぐものつまりコネクターなのだと考えています。

現時点で何か具体的な案があるわけではありませんが、接続するソリューションであれば物理的には存在しないソフトウェア等も弊社製品として今後あり得るわけです。

そして今回の NA2-IO-DLINE についてですが、リサーチの結果ちょうど良い価格で入手性も良く、コンサートのステージやフィールドユースでも使える、高い信頼性と堅牢性を持った製品が欲しいという要望が世界中から上がっているということが分かり開発することになりました。

私達の強みである信頼性と堅牢性がお役



に立てるのではないかという気持ちからスタートしたわけです。

ノイトリック株式会社からのコメントを聞いて納得、確かにこの製品も他の電子機器製品も“コネクタ”であると確信した。

製品の特長

ラインレベルのアナログオーディオ入力が2系統、アナログオーディオ出力が2系統、これらは当然ノイトリックのお家芸である高信頼性のXLRコネクタが採用されている。ただし、注意しなければいけないのはマイクレベルには対応していないということだ。マイク入力を行う際は別途マイクプリアンプ等を挟む必要がある。そして次は Dante ネットワークに繋ぐ為に必須のイーサネットコネクタ、これももちろんノイトリックのイーサコンが採用されている為信頼性と堅牢性に関してはこれ以上のものがなく安心して使えそうだ。

なお、電源についてもこのイーサコネクタ経由で給電を行うことになる。

PoE (Power over Ethernet) を利用してのみ給電が可能の為、この機器を使う為には PoE 対応のスイッチングハブ、もしくは PoE インジェクターを別途用意する必要がある。

また、この機器を守る外側のゴム製のプロテクターは簡単に外すことができる為、ラックマウントも可能となっている。

価格について

ノイトリック日本法人からのコメントの通り、価格についても驚くべき設定となっていた。某インターネットショップで筆者が確認した限りでは、税抜きで 36,000 円を下回っていた。(2018年9月21日時点) 今までラックマウント可能な Dante 対応機器と言えば 10 万円以上の価格が当たり前の時代でこの価格設定は驚きを隠せない。

給電が PoE でのイーサネットコネクタ経由でしかできない等の割り切った仕様を考慮してもなお衝撃的だ。この製品をきっかけに Dante ネットワークに挑戦するのも良いだろう。この機器はプロ仕様の信頼性を備えているわけなので当然ながら本格的な使用にも耐えうる。Dante 規格は複数の機器を自由にルーティング可能なので、2 イン 2 アウトごとに徐々に予算をかけてシステムを拡張していくにも最適である。

この製品を皮切りに Dante 規格が放送業界にも広く浸透していくのが容易に想像できる。そんな魅力的な製品ではないだろうか。

<http://www.neutrik.co.jp>